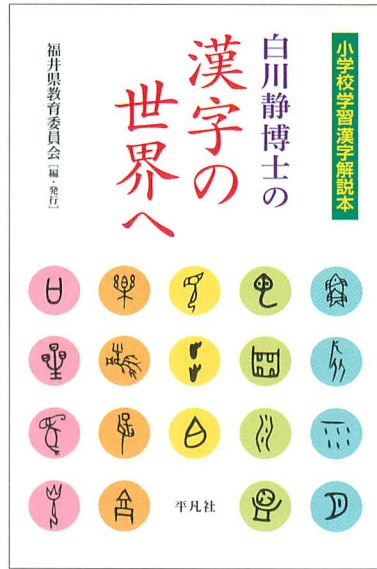


# 白川静博士の漢字の世界へ

全国学力テストでトップクラスの福井県の小学生は、この本で漢字を勉強している

平凡社



漢字学者白川静博士の故郷・福井県では、白川文字学にもとづく独自の漢字教育に取り組み、めざましい成果をあげています。  
本書は、2008年から福井県内の全小学校で使われ、全国的に注目されている漢字学習本を、さらに見やすく、楽しく読めるように改訂したものです。

B5判並製／288頁／オールカラー

定価：1680円（税込）

好評発売中



「見」のもの字



「口」のもの字  
祝詞をいれる器

## 『白川静博士の漢字の世界へ』の内容

●「小学校学習指導要領」にある小学生が学ぶ漢字全1006字を、学年別に配列。

●漢字が生まれた古代の形（甲骨文字、金文など）を掲載。

●漢字の成り立ち、もともとの意味がわかるので、驚くほど楽しく漢字を理解でき、意味や形のつながりで、どんどん字を覚えることができます。  
●文字にあらわれた古代中国の人のびとの暮らしにも興味が広がります。



「齒」のもの字



「菜」のもの字



「風」のもの字





会意 8画

取

とる シユ



古代文字の甲骨文は赤、金文は青、篆文は緑で示しています

耳と又とを組み合わせた形。又は手の形で、戦場で敵を討ち取った時、証拠としてその左耳を手で切り取ることを取といひ、「とる」の意味となった。

形声 10画

酒

さけ さか シユ



音を表すのは酉。酉は酒樽の形で、酒のものと字である。「さけ」をいう。

会意 8画

受

うける ジユ



受と舟とを組み合わせた形。受は、爪(手)と又(手)とを組み合わせた形で、舟は盤の形。盤(入れ物)の中

漢字の成り立ちの分類「六書」を示しています

象形 6画

州

す シユウ



に入れた物を上の手から下の手に受け渡す意味。下の手からいうと「うける」の意味となる。

形声 9画

拾

ひろう シユウ・ジユウ



合はふたと器がぴったり合わさっている形。拾はそのように取りそろえることをいう。「ひろいとる、ひろいあつめる」の意味に使う。また、十の代わりに数の十を表すのにも使うことがある。

漢字の形や成り立ち、意味などを白川文字学にもとづき解説しています。すべての漢字には振り仮名をつけてあります

三年生

小学校の何年生で習う漢字なのかを示しています

平凡社

ISBN978-4-582-40334-3

『白川静博士の漢字の世界へ』を

定価1680円(税込) 冊申し込めます

●書店印

注文書

おなまえ

おところ 〒

おでんわ